

- 問1 アメリカ合衆国の企業が、情報通信技術（ICT）のソフトウェア開発などをインドの企業に委託するなどの連携が盛んな理由について、歴史的背景と言語の観点から説明したものととして最も適切なものはどれですか。（2019年 大分県公立入試 類似）
1. 両国は北アメリカ大陸と南アジアで地続きの隣国同士であり、物理的な輸送コストが極めて低いため。
 2. 両国はともにイギリスの旧植民地であった歴史があり、共通して英語を話す人が多いという基盤があるため。
 3. 両国はともにキリスト教を国教に近い形で信仰しており、宗教的な価値観が共通しているため。
 4. 両国はかつて同じ連邦国家を形成しており、法制度や特許制度が完全に同一であるため。
- 問2 1980年代から2010年代にかけて、ベトナムやインドネシア、マレーシアなどの東南アジア諸国で見られた輸出品目の構成変化に関する説明として、最も適切なものはどれですか。かつての主要な輸出品と、近年の動向を踏まえて答えなさい。（2023年 佐賀県公立入試 類似）
1. 自国内の消費が増えたため、農産物や鉱産資源の輸出を制限し、重化学工業製品の輸入を大幅に増やした。
 2. 工業化を断念し、観光業などのサービス業を経済の中心に据えたため、工業製品の輸出割合は1980年当時よりも低下した。
 3. 外国企業の誘致などによって、衣類や電気機器などの工業製品の輸出割合が増大し、工業国へと移行している。
 4. 伝統的なモノカルチャー経済を維持するため、農産物や鉱産資源の輸出割合を1980年当時よりもさらに高めた。
- 問3 ドバイが石油資源に依存した経済構造から脱却するために進めている、都市開発や経済政策の背景として最も適切なものはどれですか。（2020年 千葉県公立入試 類似）
1. 国内の食料自給率を100%にするため、石油による利益のすべてを砂漠の完全緑化と農用地の拡大のみに投入している。
 2. 将来的な石油資源の枯渇を見据え、金融、物流、観光などの産業を多角化することで持続的な成長を目指している。
 3. 外国企業の参入を厳しく制限し、伝統的な真珠養殖業を再び国の基幹産業として復活させる鎖国的な経済政策を採っている。
 4. 石油輸出の停止を決定し、その代替として太陽光発電による電力輸出のみで国家予算をすべて賄う計画を立てている。
- 問4 西アジアのアラビア半島に位置し、広大な国土に世界有数の油田を保有している国があります。この国は日本のエネルギー政策において極めて重要であり、日本の原油輸入先として最大の割合を占めていますが、その国名を次の中から選びなさい。（2025年 沖縄県公立入試 類似）
1. ブラジル
 2. アラブ首長国連邦
 3. メキシコ
 4. サウジアラビア
- 問5 中国の経済発展において重要な役割を果たした「経済特区」に関する説明として、その目的と背景を正しく述べたものはどれですか。（2026年 岐阜県公立入試 類似）
1. 首都などの大都市に人口が集中しすぎるのを防ぐため、国の直接的な管理下で計画的な都市開発を進めるため。
 2. 少数民族の伝統的な生活や文化を守るために、独自の行政権や法律を定めることで内陸部を開発するため。
 3. 安価で豊富な労働力と外国の資本を組み合わせ、輸出向けの工業製品を生産することで経済成長をはかるため。
 4. イギリスやポルトガルから返還された地域において、社会主義の制度を適用せずに高度な自治を維持させるため。
- 問6 アジアとヨーロッパの境界に位置するトルコでは、古くから東西を結ぶ陸上交易ルートの要所として発展してきた歴史があります。このような地理的条件がトルコの文化に与えた影響について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 愛知県公立入試 類似）
1. アジアから伝来した稲作文化のみが定着し、パンを主食とするヨーロッパの食文化は全く浸透しなかった。
 2. アジアとヨーロッパの食文化が融合し、羊肉やヨーグルトなどを活用した独自の料理が発展した。
 3. 四方を海に囲まれた島国であるため、大陸の食文化の影響を受けずに独自の海洋文化が形成された。
 4. 周囲を広大な砂漠に囲まれているため、他地域の文化が混ざることなく純粋な伝統文化が維持された。
- 問7 ユーラシア大陸の東部に位置し、東は太平洋に面する広大な国土を持つ国には、世界文化遺産にも登録されている「万里の長城」があります。この建造物の特徴や役割について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2018年 福岡県公立入試 類似）
1. キリスト教の布教の拠点として、各地を結ぶ道路沿いに築かれた
 2. 神を祀る神殿として、都市の最も高い丘の上に築かれた
 3. 歴代の皇帝の墓として、巨大な石を積み上げて築かれた
 4. 北方の遊牧民の侵入を防ぐために築かれた
- 問8 フィリピンは東南アジアの中でも、国民の多くがキリスト教（カトリック）を信仰しているという独特の文化を持っています。このような宗教分布が形成された歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 神奈川県公立入試 類似）
1. 17世紀にオランダの統治下に入り、ヨーロッパ諸国との交易を通じて信仰が広まったため。
 2. 古くから大陸の仏教文化の影響を拒み、独自のキリスト教文化を発展させてきたため。
 3. アメリカの植民地時代に、英語教育とともにカトリックが国教として定められたため。
 4. 16世紀からスペインの植民地支配を受け、キリスト教の布教が強力に進められたため。
- 問9 インドの土地利用と産業の特色について述べた文として、背景や実態を正しく説明しているものはどれですか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）
1. 乾燥帯が広がる国土の特性を反映し、農地面積のほとんどが羊や牛を育てるための牧草地として利用されている。
 2. 近年は急速な工業化が進んだことで農地が工場用地に転換され、耕地・樹園地の面積は主要国で最小となっている。
 3. 環境保護の観点から開発が厳しく制限されており、農地面積よりも森林面積の方がはるかに広い割合を占めている。
 4. 広大な農地面積の中でも耕地・樹園地の割合が極めて高く、主食となる米や小麦、茶などの生産が盛んに行われている。
- 問10 1970年代のインドネシアでは、輸出総額の6割以上を原油が占めていましたが、2010年代の統計では石炭やパーム油、機械類などの割合がそれぞれ10%前後となり、品目が多角化しています。このような輸出構造の変化をもたらした背景として、最も適切なものはどれですか。（2018年 神奈川県公立入試 類似）
1. 世界的な天然ゴムの需要増加を受け、伝統的な生ゴムの生産と輸出に特化するモノカルチャー経済が強化された。
 2. 国内の原油資源が完全に枯渇したため、政府が原油の輸出を法律で禁止し、石炭の輸出に一本化した。
 3. 日本などの外国企業の進出や政府による工業化政策が進み、機械類などの製造業製品の輸出が増えた。
 4. 長年続けられた鎖国政策を2010年代に転換し、初めて日本との自由貿易を開始したことで工業化が始まった。
- 問11 中国では、1人あたりの総生産が3000ドル未満にとどまる内陸部から、5000ドルから8000ドル以上に達する北京・上海・広州などの沿岸部へ向けて、年間数百万人規模の人口移動が見られます。このような大規模な移動が起こる背景として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 佐賀県公立入試 類似）
1. 沿岸部の過密状態を解消するため、政府が内陸部の農村へ労働力を分散させる政策を推し進めている。
 2. 沿岸部の農村における深刻な労働力不足を補うため、内陸部の都市住民が農業に従事するために移動している。
 3. 内陸部の都市部における賃金が沿岸部を上回ったため、高度な技術を持つ労働者が一斉に内陸へ移動している。
 4. 内陸部と沿岸部の間に大きな経済格差があり、現金収入を得るために農村から都市へと「出かせぎ」が行われている。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 両国はともにイギリスの旧植民地であった歴史があり、共通して英語を話す人が多いという基盤があるため。	アメリカ合衆国とインドは、歴史的にイギリスの旧植民地であったという共通点を持っています。この背景から、インドでは高度な教育を受けた層を中心に英語を話す人が多い状態にあります。ICT産業においては、プログラミング言語や技術仕様が英語ベースであるため、言語の壁が低いことは大きな利点となります。これに加えて、両国間の時差を利用して24時間体制で開発を進められるといった利便性も、産業連携を後押ししています。
問2	答え 3 外国企業の誘致などによって、衣類や電気機器などの工業製品の輸出割合が増大し、工業国へと移行している。	東南アジア諸国では、1980年時点では天然ゴムや米などの農産物、石油や天然ガスといった鉱産資源の輸出が中心のモノカルチャー経済に近い構造でした。しかし、外資系企業の積極的な誘致や経済特区の整備、ASEAN（東南アジア諸国連合）内での自由貿易の進展などにより、2015年頃には衣類、電子部品、自動車などの工業製品の輸出割合が飛躍的に高まり、工業化が大きく進展しました。
問3	答え 2 将来的な石油資源の枯渇を見据え、金融、物流、観光などの産業を多角化することで持続的な成長を目指している。	西アジアの産油国では、石油資源が有限であることや脱炭素社会への移行を考慮し、産業の多様化が急務となっています。ドバイは特にその動きが早く、中東のハブ空港としての機能強化や、外資を誘致するための経済自由区域（フリーゾーン）の設置、世界的な観光地の形成などにより、石油に頼らない経済基盤を確立しようとしています。
問4	答え 4 サウジアラビア	西アジアのアラビア半島に位置するサウジアラビアは、世界最大級の石油埋蔵量を誇る産油国です。日本はエネルギー資源の多くを海外からの輸入に頼っていますが、なかでもサウジアラビアは長年にわたり日本の最大の原油供給国となっており、日本の経済や市民生活を支える上で欠かせない存在です。
問5	答え 3 安価で豊富な労働力と外国の資本を組み合わせ、輸出向けの工業製品を生産することで経済成長をはかるため。	経済特区は、外国企業が活動しやすい環境を整えることで、遅れていた自国の技術力を高め、輸出を拡大させることを目的としていました。この政策により、中国は「世界の工場」と呼ばれるほどに成長しましたが、一方で急速に発展した沿岸部と、開発が遅れた内陸部との間で大きな経済格差が生じる原因にもなりました。
問6	答え 2 アジアとヨーロッパの食文化が融合し、羊肉やヨーグルトなどを活用した独自の料理が発展した。	トルコは小アジア半島（アナトリア半島）を中心とした地域に位置し、アジアとヨーロッパを結ぶ交通の要所として栄えてきました。この地理的背景により、東のアジア系民族の伝統と西のヨーロッパの文化が混ざり合い、食文化においても羊肉やヨーグルトを用いるなど、両地域の要素が組み合わさった世界的に有名な食文化が形成されました。
問7	答え 4 北方の遊牧民の侵入を防ぐために築かれた	万里の長城は、中国の北側の国境沿いに建設された大規模な防衛施設です。山々の尾根などに沿って延々と続くこの壁は、外敵の侵入を監視し、防ぐ役割を果たしていました。選択肢にある「皇帝の墓」はエジプトのピラミッドなどの特徴であり、万里の長城は軍事的な防衛ラインとしての性格を持っています。現在残っているものの多くは、明の時代にレンガなどで強固に築かれたものです。
問8	答え 4 16世紀からスペインの植民地支配を受け、キリスト教の布教が強力に進められたため。	フィリピンの宗教分布は、大航海時代以降のヨーロッパ諸国による植民地支配と密接に関係しています。16世紀にスペインがこの地域を領有した際、植民地支配の確立とともにカトリックの布教を推進した結果、現在のような宗教構成が作られました。国名自体も当時のスペイン皇太子フェリペに由来しています。
問9	答え 4 広大な農地面積の中でも耕地・樹園地の割合が極めて高く、主食となる米や小麦、茶などの生産が盛んに行われている。	インドの土地利用の最大の特徴は、農地における耕地・樹園地の比率が圧倒的に高いことです。これは、インドが伝統的に米や小麦といった穀類、さらには商品作物としての茶や綿花の生産に注力してきた農業国であることを示しています。統計上も、比較される他の大国（森林面積が広いロシアや、放牧地の割合が高いオーストラリアなど）に比べて、耕作に割り当てられる土地の割合が非常に大きいことがわかります。これは就業人口の多くが依然として農業に従事しているという社会構造とも密接に関わっています。
問10	答え 3 日本などの外国企業の進出や政府による工業化政策が進み、機械類などの製造業製品の輸出が増えた。	インドネシアでは、1970年代には輸出の過半数を原油などの地下資源に依存していましたが、その後、外資導入による工業化を推進しました。特に日本企業の製造拠点が数多く進出したことで、機械類などの製造業製品の生産・輸出が拡大し、特定の資源に依存しない多角的な輸出構造へと変化しました。
問11	答え 4 内陸部と沿岸部の間に大きな経済格差があり、現金収入を得るために農村から都市へと「出かせぎ」が行われている。	中国では1970年代末からの改革開放政策により、外資を受け入れやすい沿岸部で先行して経済発展が進みました。その結果、経済発展が遅れ賃金水準の低い内陸部と、発展した沿岸部の間に著しい経済格差が生じました。内陸部の農村に住む人々は、より高い賃金や現金収入を求めて、沿岸部の都市へと移動して働く「出かせぎ」を活発に行っています。